

# 第3回香美市地域公共交通活性化協議会

## 議事要旨

### 日時・場所

令和5年8月23日（水）午後2時～  
香美市立中央公民館1階大ホール

### 次第

1. 開会
2. 議事
  - (1) 香美市地域公共交通に関する住民ヒアリングについて
  - (2) 香美市地域公共交通計画の策定について  
(課題整理・基本方針等)
3. その他
4. 閉会
5. 配布資料
  - (1) 会議次第
  - (2) 【資料01】香美市地域公共交通に関する住民ヒアリング調査の概要
  - (3) 【資料02】香美市地域公共交通計画（第5章～第6章）
  - (4) 【参考資料01】香美市地域公共交通に関する住民ヒアリング調査結果
  - (5) 【参考資料02】住民アンケート再分析

会議状況



会議状況



## 議事要旨

### 1. 開会

- ・事務局：（開会挨拶）  
委員自己紹介

### 2. 議事

#### （1）香美市地域公共交通に関する住民ヒアリングについて

- ・事務局：資料説明

#### 【質疑応答】

- ・委員：夜間の移動手段についての要望は出なかったのか。
- ・事務局：1件あった。五王堂の方で、南国市に勤務している方が、飲み会等があった時に帰ってくる移動手段が欲しいという要望があった。
- ・委員：一人暮らしの高齢者は夜間に具合が悪くなり、病院へ行きたくてもタクシーも無くて困っているという意見を聞いた。
- ・事務局：いただいた意見を整理して、計画に反映する。
- ・委員：「カミカ」の導入について詳しく研究して進めていく必要があると思う。
- ・委員：住民ヒアリング結果からは、現在あるバスやタクシーに対する不満や意見が出ていないので、今後何を取り組んでいったらいいのかがわかりにくい。住民の方々が満足しているのか、関心が無いのかがわからない。
- ・事務局：住民ヒアリングの前に行った住民アンケート及び事業所ヒアリングにおいて、不満やニーズに関する意見が出ている。住民ヒアリングに来ていただいた方々は自家用車を運転している人が多かったので、公共交通に対する意見が出にくかったのではないかと思います。
- ・会長：住民ヒアリングのまとめ方として、何がわかり、何が必要だという意見がどの程度あったのかが整理されていたら良いと思う。

住民ヒアリングによると、今のところサブスクリプションはあまり受け入れられていない。その代わり「カミカ」のようなキャッシュレスに関しては、一定の社会受容性がある。

また、私の見方としては、短い距離で人が乗っていれば、自動運転もそれなりの社会受容性があると読み取れた。高低差があるところで、乗り物を準備するのが大変なときには新しい技術が活用可能かもしれない。ちなみに2023年の4月から特定条件のもとで無人の自動運行することは可能となる。

また、生活圏についても説明があり、南国市との繋がりをどうするのかといった議論も必要である。住民ヒアリングからは香南市との接続があったらよいという意見もあった。香南市の地域公共交通計画には土佐山田駅との接続を検討しているとしているので、周辺の地域と連携して、移動のネットワークの拡大を考えることも良いと思う。

## (2) 香美市地域公共交通計画の策定について（課題整理・基本方針等）

・事務局：資料説明

### 【質疑応答】

・委員：資料02の2ページ「③公共交通に対するニーズ」のところが、住民ニーズが具体的に表現できていないと思う。

4ページ「役割②誰もが必要なときに必要な移動ができる」のところは、関係する法律の位置づけを考えるべきだと思う。地域公共交通の役割について法的な制約があるので、そこを考えて記述すべきである。

「役割⑤観光促進を支援」と体言止めになっているので、「支援する」といった表現のほうが良いと思う。

・事務局：再度、ヒアリングやアンケートの結果と「5.2 役割の整理」のつながりを整理して、修正する。

・委員：乗り継ぎの待ち時間を短縮してほしいという意見があったが、美良布駅の待合室の快適性を上げていくことで、待ち時間を苦痛なく過ごしてもらおうという方法を考えれば良いと思う。

交通系ICカードについては、今まで通りスムーズに運賃の支払いができなくなり遅延が発生する可能性があると共に、手数料がかかり収入に結びつかなくなるので、事業者としては考えるところがある。

・会長：今後、一番大事な施策として課題か何かというところの検討、あるいは理由・根拠が必要になる。例えば「問題点②バスと鉄道の乗り継ぎ時間がかかる」では、乗り継ぎ時間が30分以上かかることが駄目だというエビデンスが示されていない。また、「問題点⑥公共交通空白地域が存在」では、公共交通不便地域に触れられておらず、市民の4割が自由に公共交通移動できないことになっているのに書かれていない。

また、「6.1 問題点の整理」だが、この順番で整理している理由を教えてください。

- ・事務局： 課題の優先順位付けはまだできていないので、一番にあげているものを最優先で解決しなくてはならないということではない。
- ・会長： 誰が読んでも同じ理解ができるような整理をしてほしい。5章と6章は再度整理をしてほしい。
- ・委員： 5年先を見据えた時に、財源が増えるという見込みがあるが、持続可能な基本方針になっているのかが疑問である。
- ・事務局： 持続可能なことが大前提であるので、現実的に予算内でできる範囲を見ながら検討していきたいと思っている。
- ・委員： 実現可能な計画になるために、議会と連携しながら検討していかなければならないと思う。
- ・事務局： この計画は、市も参画団体の一つなので、民間の会社や皆様と一緒に連携して検討していくものである。
- ・委員： 国土交通省の資料では、空白地域への交通の確保について、新たな公共交通機関を走らせるのではなく、福祉車両の活用や自家用車の有料化をして相乗りするといった方法が載せられていた。今ある手段を活用して助け合っていくことが大事であるということである。
- ・会長： これからの都市計画は、居住を誘導するところと土地の機能を誘導するところが公共交通で結ばれてないといけないということがあるので、既存の公共交通だけでなく、他の方法を議論して実証を行いながら実現を目指していければと思う。
- ・委員： 現在の福祉タクシー制度について、年間36枚タクシーチケットを配布している。香美市については70歳以上の高齢者の方や免許返納者、介護認定されている方、障がい者の方が福祉タクシーの利用者である。タクシーチケットをもっと配布してほしいという声があるが、財政的に厳しい状態である。
- ・事務局： 公共交通の事業者それぞれが限られた財源の中でやっているのだから、他市町村のやり方を参考にしながら検討していかなければならないと思っている。
- ・会長： 土佐山田駅のエレベーターの話があったが、都市計画マスタープランに令和7年から自由通路の整備を計画すると書かれていた。関連性は持たせるのか。
- ・委員： 現在JR駅への出入り口は南側にしか無いので、都市計画マスタープランでは北側から南側に移動する自由通路を作る計画がある。エレベーターについても財源的な問題もあるが、検討していきたいとは思っている。
- ・会長： 別々のものとして取り扱うのは違うと思うので、関連して整備できるのであれば良いと思う。

### 3. その他

- ・その他議事は特になし

### 4. 閉会

- ・事務局：ヒアリングやアンケート結果から、5章と6章についてエビデンスを示して繋

がりを持たせ、再構築をしていく。

次回は10月ぐらいに第4回の会議を行いたい。

(閉会挨拶)

以上